

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	来館出来ない人への図書館サービス事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	図書館に来館出来ない市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
図書館へ来館出来ない人が読書の楽しみを知り、知る自由の保障が図られています。		生涯学習支援のため、移動図書館車で児童施設、入所施設、図書館から遠い地域の学校・公民館を訪問し、図書の貸出を行います。また、目の不自由な方への郵送サービスを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	巡回回数			単位	回
	説明・算定式	児童施設や入所施設への巡回回数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	84	84	84	84	
	実績	73	76	75		
活動指標②	指標名	目の不自由な方専用の蔵書冊数(平成24年度から)			単位	冊
	説明・算定式	デジジー録音図書等(冊数は墨字本1冊分にあたるデジジー録音図書を1冊としてカウント)				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標		100	130	160	
	実績		145	174		
成果指標①	指標名	貸出点数(平成24年度から)			単位	点
	説明・算定式	移動図書館と出前図書館での合計貸出点数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標		40000	40000	40000	
	実績		39841	37019		
成果指標②	指標名	訪問施設数			単位	箇所
	説明・算定式	幼稚園、保育所等				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	15	15	15	15	
	実績	10	10	10		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>出前図書館については、訪問施設数、巡回回数ともに微減しましたが、新たに2か所の公民館で返却ポストを設置し、図書館に来館しなくても資料を返却できるように取り組みました。</p> <p>視覚障がい者への郵送貸出サービスについては、デジジー図書に加えて、音楽CDやCDブック等も対象としたことで、貸出件数を264点(平成24年度は64点)と大幅に増えました。</p>						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	移動図書館の個人利用者は、平成25年度に延べ9,602人あり、移動図書館車を活用したサービスは必要とされています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	図書館から遠くにお住まいの方や、保育園等に通う子どもたちに対して、図書館サービスを提供することで、利用者の満足度を高めます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	視覚障がい者サービスについては、利用者からの要望をもとに、貸出資料の対象や貸出点数を見直したことで、利用を増やすことができました。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	移動図書館の巡回については、ルートや停車時間の見直しにより、さらに効率的な運行を行える可能性があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 何らかの事情で図書館に来館できない方に対して、移動図書館車を活用して図書館サービスを提供することは、市民の読書活動を支援する上で有効です。出前図書館については、利用する施設の要望を踏まえながら、巡回日や積載図書を選ぶことで、さらに利用しやすくする必要があります。障がい者サービスについても、利用者のニーズにより細かく応じられるよう努めます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	108	0	0	0
	一般財源	4,764	4,493	3,460	3,612
事業費 (A)		4,872	4,493	3,460	3,612
執行率 (%)		99.86	99.80	99.31	
内訳	職員 (人)	2.15	2.50	2.60	2.40
	再任用 (人)	0.80	0.80	0.85	0.80
人件費 (B)		20,113	22,760	23,557	21,514
フルコスト (A+B)		24,985	27,253	27,017	25,126

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針
駐車スペースがなかったり、隣接道路が狭かったりするなどの理由で、移動図書館車が園の敷地に入車できず、出前図書館サービスが受けられない施設に対するサービスを検討します。
課長コメント
何らかの事情で図書館に来館できない方や図書館から遠い地域の学校・公民館に出向き図書の貸出を行い、また目の不自由な方への郵送サービスを実施することにより、知る自由の保障という目的に沿った事業を展開しています。今後も、スペース等の都合で移動図書館車が入車しづらい場所へのサービスなど、取組の拡大を検討します。